



全日本学生ヨット個人選手権大会 SNIPE級

4回生の鈴木です。個戦の報告をさせていただきます。1日目は6-12knotの風で2レースを実施。ブリーフィング後は風が無く、昼前まで風待ちをして出艇。思うような帆走が出来ず、苦しい展開が続きます。5-13というイマイチな順位で初日を終わりました。1上で前に出れなくても、カットにはならない使える点数を2つ付けることが初日としての鍵でした。2日目は10-18knotの風で4レースを実施。北西寄りの風と南寄りの風がぶつかり1時間海上待機。1.4kmという長いレグ長で行われました。トップ艇団は2つに分かれます。①スタートからリスクをとり左奥の風に乗って前に出る艇団と、②帆走力に自信があり堅い展開をする数艇。軽量なものの艇速に自信があり、1-3-1-4とまとめ、2位に10点差をつけて中日を終わりました。3日目は2-8knotの風で2レースを実施。最終日のみ海面が変更という特殊な状況。極限の緊張状態の中でも、いつもと同じ事をやり切れるかが勝負の分かれ目でした。1レース目、自分らしいレースが出来ず28位と出遅れます。この時点で上位3艇が3点差におり、全艇が大きなカットレースを抱えている。つまり、最終レースの着順で全てが決まるという状況でした。最終レースは自分のヨットレースをすることができ2位フィニッシュ。何とか優勝することができました。多くのご声援、誠にありがとうございました。



全日本学生ヨット個人選手権大会 SNipe級

4年生スナイプクルーの岨です。全日本学生ヨット個人選手権大会について報告させていただきます。

僕たちはもともと鈴木のペアだったクルーが怪我のため出場できず、本番の1週間前から急遽組み始めての挑戦となりました。結成当初は息が合わなかったものの、日が経つにつれて徐々に良くなっていく感触がありました。迎えた大会1日目。長い風待ちの後、昼頃に風が上がり出艇し2Rを行いました。レースはまだコンビネーションが出来上がっていないこともあり、5-13で総合6位と出遅れてしまいます。2日目。風量はあるものの風向が安定せず沖で1時間程待機した後、基本ハイクアウトコンディションで4Rを行うハードな1日となりました。この日は2人の息がようやく噛み合ってきたこともあり、1-3-1-4とまとめ首位に躍り出ます。最終日。軽風コンディションで2R行いました。この日の1R目は自分たちのレース展開が上手くできず28位と叩き、この時点で2位と同点に追いつかれてしまいます。勝負の最終レース。最後は自分たちらしいヨットレースをしようと2人で話し合い、人生最大の集中と自分たちらしいレース展開で競合を振り切り2位でフィニッシュし、優勝を決めることができました。優勝を勝ち取ることができたのは皆様のご声援のおかげです。ありがとうございました。今後とも応援よろしく願いいたします。

団体戦予選 総括

お世話になっております、3回生470クルーの神谷康成です。団体戦予選についての活動報告をさせていただきます。

他大学より約1週間ほど早く前入りをし、これまでの夏合宿と合わせ他大学に対し、圧倒的な練習量のもと団体戦予選を迎えました。目標は総合優勝とし、もしかしたら完全優勝できるのではないかという根拠のない自信とともに本番を迎え、いざ蓋を開けてみると、4703位、スナイプ2位の総合2位という結果に終わりました。自分が想定していたよりも完全優勝はまだまだ遠い所にありました。予選優勝は来年必ず実現します。

最後に、初めてレースメンバーとして迎えた団体戦でしたが、団体戦でしか味わえないものを少しでも感じれたように思えます。本戦まで残り12日となりましたが、最後の最後まで3番艇4806の成長に妥協なく向き合いたいです。



団体戦予選 470級

3回生470スキッパーの熊川琳哉です。団体戦予選についてのご報告をさせていただきます。

団体戦予選は本戦での総合4位を達成するためにチームとして重要な位置づけの大会として臨みました。

結果としては470級3位、スナイプ級2位、総合2位と両クラスで全日本出場は叶ったものの、それぞれのチームでミスがあり全日本本戦への課題が浮き彫りとなりました。私個人としても複数アルファベットを付けてしまうなど大きなミスをしてしまったことは必ず修正しなければならないと感じています。残された時間は多くはありませんが、改善できる部分を少しでも修正し、全日本総合4位を獲得できるように精進してまいりたいと思います。



団体戦予選 SNIPE級

お世話になっております。4回生スナイプスキッパーの宮本航太郎です。10月11日から13日にかけて石川県の滝港で行われた近畿北陸学生ヨット選手権団体戦について報告させていただきます。スナイプチームの目標としてはクラス優勝を掲げていたものの、1位の同志社と60点差で2位という結果になりました。その点差のほとんどは1日目のレースでつけられたものであり、チームの課題であった1発目の弱さを露呈する結果となってしまいました。ただ、その中でも京大が前を走るレースはあり、夏遠征での成長を感じられた部分もありました。団体戦本戦までに、予選で出た課題を修正して更に前を走れるよう全力で励みたいと思います。これからも応援よろしくお願いします。



新人戦 470級

お世話になっております。1回生470スキッパーの神志那実篤です。8月13日、14日に行われた新人戦について報告させていただきます。新人戦の1日目は、昼過ぎに急に天候が悪化し、遠くで雷が光るのが見えました。強い風と波の中、怖い思いをしながらも全員で安全にハーバーバックすることができました。また、出艇前に、上回生の先輩がカムのネジを締め直してくださり、整備の大切さを身をもって学びました。普段の小さな確認が安全な練習につながることを実感しました。2日目も不安定な天候が続き、雨雲の影響で強風が吹き荒れ、多くの船がチンしてしまいました。レースはノーレースとなりましたが、自然の厳しさを感じる二日間となりました。今後の練習につなげていきたいです。今後ともよろしくお願い致します。



新人戦 SNIPE級

お世話になっております。1回生SNIPEスキッパーの佐々木遼太です。8月13日、14日に行われた新人戦についてご報告いたします。この大会は、私たち未経験から始めた1回生にとって初めてのレースでした。当日は雷雨や大幅な風の振れ、強風に見舞われ、多くのレースが中止となりましたが、2日間で計2レースを経験することができました。どちらのレースでも満足のいくスタートができず、実力の差を痛感しましたが、同時に、先輩方のおかげで的確なコースを走ることができ、順位を上げられたことで、その頼もしさを改めて実感いたしました。ホッパーからスナイプに乗り換えて間もない大会だったため、スタートや帆走で思うようにいかない点多々ありましたが、レースの楽しさに触れ、ヨットへの意欲がより一層高まりました。今回の大会で見つかった課題を克服できるよう、今後の練習に励んでまいります。応援ありがとうございました。



ファミリー&OBデー

お世話になっております。3回生470クルーの鍵田知徹です。私からは、8/3日に行われたファミリー&OBデーについてご報告させていただきます。今年のファミリー&OBデーは58名の方々に参加していただき、マネ飯やヨット試乗会、艇庫での活動紹介などを行いました。こうした企画によってヨット部の普段の活動を知ってもらうことにつながったのではないかと思います。自分は今回ファミリーデー隊長として運営を行いました。当日の交流を通じてヨット部が多くの保護者様やOB様方の支えによって成り立っているのだと強く感じました。これからも支えてくださる人たちへの感謝を忘れずに活動していこうと思います。今後とも応援よろしくお願い致します。



マネージャー感謝祭

お世話になります。3回生470スキッパーの篠原です。9月13日にマネージャー感謝祭を実施いたしました。私は運営統括として、準備段階での役割分担やスケジュール調整、そして当日の司会を担当しました。午前中はマネージャー対抗ヨットレース、午後はレクリエーションを行い、直前まで準備が残る部分もありましたが、部員たちのアドリブでカバーし、無事に成功を収めることができました。今年の感謝祭は、日頃から昼夜の食事作りも担当してくれているマネージャーへの感謝を込めて、プレーヤーが昼夜のご飯を調理しました。いつも大変な仕事を任せきりになっていると改めて実感し、感謝の念がより一層深まりました。マネージャーにも大変好評で、私も大変嬉しく思いました。



全日本470

お世話になっております。三回生470クルーの金子諒大です。9/3-7に神奈川県江ノ島ヨットハーバーにて行われました全日本470選手権について報告させていただきます。5日間で海風や陸風、微風から強風までさまざまな風の中、計9レース行われました。

今大会はスタートから難しい展開が多く、レース中のスピードや混戦の捌き方など、自分の技術不足を痛感するレガッタとなりました。今回の大会は全日本選手権であり、関東の大学の選手や社会人などの普段は一緒にレースすることのない選手たちとレースをする中で強風コンディションでの自分の現状を把握することができました。この経験を活かして、今後の練習に活かしていきたいと考えています。応援よろしくお祈いします。



全日本スナイプ

お世話になっております。3回生スナイプクルーの明見春彦です。私からは8/20~24に江ノ島で開催された全日本スナイプ選手権についての報告をさせていただきます。天候に恵まれて基本的にフルハイクの中風コンディションで最大レース数の9レースを消化することができました。今大会自艇はスタートに苦しみ、1R目からBFDとなってしまう、厳しい幕開けとはなりましたが、レベルの高いビックフリートの中で周りの動きに合わせてスタート後生き残るという実践経験を積むことができ、成長につながりました。スタート以外ではマーク際の帆走と位置取りが大きな課題として見つかりました。この経験を活かして今後の練習にも取り組んでまいります。応援よろしくお祈いします。



全日本個人ヨット選手権大会 470級

お世話になっております。4回生470クルーの玉木です。今回は、8月28日から31日に蒲郡にて行われました。全国学生ヨット選手権個人戦について書かせていただきます。私たちのペアは、この個人戦本戦での順位を1つの目標として今年の春から練習に励んできました。全8レースを消化し、結果としては個人14位で、国立大学の中では1番の成績で終える事が出来ました。大会の中で1番印象に残っているのが、5レース目のトップフィニッシュです。自分たちの信じた方に風が振り、1下以降はずっと1位をキープしたままフィニッシュしました。今年、村上氏に寄付していただいた新艇の風来Iで、期待通りの成果が出せたのでとても嬉しいです。インカレ本戦でも同じような順位が出せるように、残りの短い期間精進していきます。引き続きご支援・ご声援のほどよろしくお願いいたします。



夏遠征 470チーム

お世話になっております。470クラスリーダーの原田です。8月から9月にかけて行われた夏遠征について報告させていただきます。今年の夏遠征は葉山での第一部と江ノ島での第二部の二部構成で練習しました。第一部では「3・4番艇を主軸としたミドル層の底上げ」を目的に、動作中心の基礎強化に注力。8月末の裏個戦では、溝脇/神谷ペアがビッグフリートの中で準優勝を果たしました。続く第二部では「団体戦予選に向けたトップアップ」を掲げ、全個出場組も合流し、元NT高山大智さんの下でハイレベルな練習を実施。琵琶湖とは異なる厳しい環境で心身共に鍛えられ、潮っけのあるセーラー達へと成長した遠征となりました。以上で470夏遠征の報告とさせていただきます。今後とも応援のほど、よろしくお願い申し上げます。



夏遠征 SNIPEチーム

お世話になっております。4回生スナイプスキッパーの桂田泰誠です。僕からはスナイプの夏合宿遠征についてご報告いたします。今年の夏遠征は8/15~9/29までの約1ヶ月半を葉山と江ノ島で過ごしました。例年に比べてオフが少なく体力的に大変な部分は多かったです。スナイプチームは主に帆走練を行いながら自分たちの帆走力を磨きながら他大学のコース練に混ざって実践形式の練習にも多く取り組みました。遠征の後半ではBEST WINDの高木さんにコーチングをしていただき、技術的なことから運営面の部分まで多くのことを学ぶことができました。夏遠征の練習の成果を団体戦で発揮できるよう、チーム一丸となって残りの期間を過ごしていきたいと思います。



夏合宿 琵琶湖チーム

お世話になっております。2回生スナイプスキッパーの小川瑛土です。私からは琵琶湖での夏合宿についてご報告いたします。今年の夏合宿は9月末に琵琶湖で国体をする関係で例年よりも練習日が短くなってしまいました。特にスナイプチームは一回生の教育に集中してきました。今年は無風が少なく、船が琵琶湖に多く残ったので一回生の出艇時間が例年よりも多く確保できました。そのおかげもあり一回生の技術はかなり成長しているように感じます。また出艇前に各ペアで今日の目標を話す時間を取り、全体集合の前にクラスでミーティングして全体集合後にすぐに出艇できるようにするなど工夫をし練習効率が上がりました。夏合宿の練習の成果を、冬のレースで活かせるように努めてまいります。



夏合宿 マネージャー

お世話になっております。4回生マネージャーの下村優芽です。夏合宿マネージャーは遠征組と琵琶湖組の2拠点で活動しておりました。慣れない海での運転に下級生は翻弄されていたかもしれませんが琵琶湖に帰ってきた時の姿は逞しいです。琵琶湖では特にマネ飯が豪華でレパートリーも尽きず練習で疲れたプレイヤーを驚かせていました！陸でセールを修理したり、インカレに向けてお守りを作ったりと充実した夏合宿でした！





他にも公式のインスタグラムのアカウントとは別に、今まで作ってきた紹介しきれないほどのたくさんのおいしいマネ飯を発信しているインスタのアカウントがあるので、是非そちらもご覧ください！

右のQRコードを読んでいただくか、
https://instagram.com/kuyc_food?igshid=MzRIODBiNWFIZA==
 こちらのリンクから飛んでいただくと閲覧可能です。



京都大学体育会ヨット部
 滋賀県大津市鏡が浜番外地
 京大ヨット部艇庫
 [[hp] <https://www.kuyc.home.com/>

[mail] kuyc.contact@gmail.com

https://twitter.com/kuyc_

<https://www.facebook.com/kyoto.sailing/?fref=ts>

https://www.instagram.com/kuyc_food/?hl=ja